

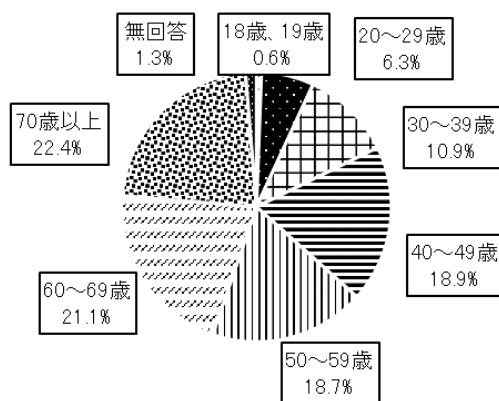
令和2年度県政世論調査結果（概要）について

<調査の概要>

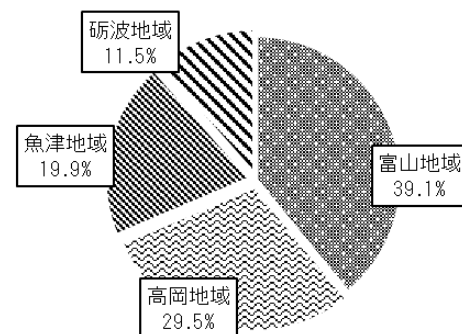
- 1 調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女4,000人
＜R元年度：2,000人＞
- 2 調査期間 令和2年8月24日～9月7日
- 3 調査方法 郵送調査
＜R元年度：留置調査＞
- 4 回収数（率） 2,155人（53.9%）（10月31日時点）
※うちweb回収 272（全回収数の12.6%）
＜R元年度：1,548人（77.4%）＞

5 年代・地域別

（世代別）



（地域別）



6 調査項目

- (1) 県政全般（政策の満足度調査、県政への要望調査）
- (2) 個別施策
 - ㊦ リカレント教育の取組み
 - ㊦ アフターコロナ時代において県が重点的に取組む分野
 - SDGs
 - 防災対策
 - 富山きときと空港の利用促進
 - ㊦ 新型コロナウイルス感染症に関する情報発信
 - ㊦ 「新しい生活様式」の実践
 - 食品ロスの削減
 - ㊦ 警察活動に対する要望
- (3) 意識調査
 - 幸福度に関する設問
 - 県民参考指標に関する設問

1 県政全般について

<政策の満足度について>

県の政策について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」から1つ選択

○満足度の高い項目（上位10項目）

- ・例年同様、『北陸新幹線の整備促進』、『水資源の保全と活用』、『食の安全確保と地産地消・食育の推進』が上位となっている。
- ・上位10位について、全体的に前回より満足度が高くなっている。

順位	項 目		%	前回R01 (参考)
1	北陸新幹線の整備促進	交流・物流	50.5	45.8 (1位)
2	水資源の保全と活用	環 境	33.4	27.6 (3位)
3	食の安全確保と地産地消・食育の推進	健康・福祉	29.9	29.7 (2位)
4	利便性の高い道路ネットワークの整備	交流・物流	28.7	23.6 (6位)
5	雪に強いまちづくり	安全・安心	28.3	22.6 (9位)
6	子育て支援	子育て・教育	28.2	23.6 (6位)
7	医療提供体制の充実	健康・福祉	28.1	22.5 (10位)
8	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	交流・物流	27.6	25.3 (4位)
8	家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成	子育て・教育	27.6	21.8 (13位)
10	自然環境の保全	環 境	24.9	21.9 (12位)

※『満足している』と『どちらかといえば満足している』を合わせた数値を指標としている。

○不満度の高い項目（上位10項目）

- ・『スピード重視の県政』『現場重視で効率的な県政』など、県政に係る項目が順位を大きく上げている。
- ・『中心市街地の賑わい創出』は例年同様、もっとも高くなっている。

順位	項 目		%	前回R01 (参考)
1	中心市街地の賑わいの創出	まちづくり・観光	46.0	48.1 (1位)
2	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	産 業	39.0	37.8 (3位)
3	スピード重視の県政	県 政	38.6	26.4 (17位)
4	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	まちづくり・観光	37.4	38.0 (2位)
5	「とやまから日本を変える」改革と創造	県 政	34.7	28.1 (11位)
6	富山のブランド力アップ	まちづくり・観光	33.8	27.7 (13位)
7	現場重視で効率的な県政	県 政	33.5	24.8 (20位)
7	選ばれ続ける観光地づくり	まちづくり・観光	33.5	34.5 (4位)
9	オープンでわかりやすい県政	県 政	32.6	28.4 (10位)
10	雇用の確保と人材の育成	産 業	31.7	32.2 (5位)

※『不満である』と『どちらかといえば不満である』を合わせた数値を指標としている。

＜県政への要望について＞

県の政策のうち、もっと力を入れてほしいと思う政策を5つ以内で選択

- ・例年同様、景気対策、高齢福祉、子育て支援、医療体制、雪対策の関連項目が上位を占めている。
- ・『雪に強いまちづくり』『富山県や日本を担う子供の育成』『富山のブランド力アップ』は大きく順位をあげた。
- ・『雪に強いまちづくり』は要望の割合が、約9%低下した。

○要望の高い項目（上位10項目）

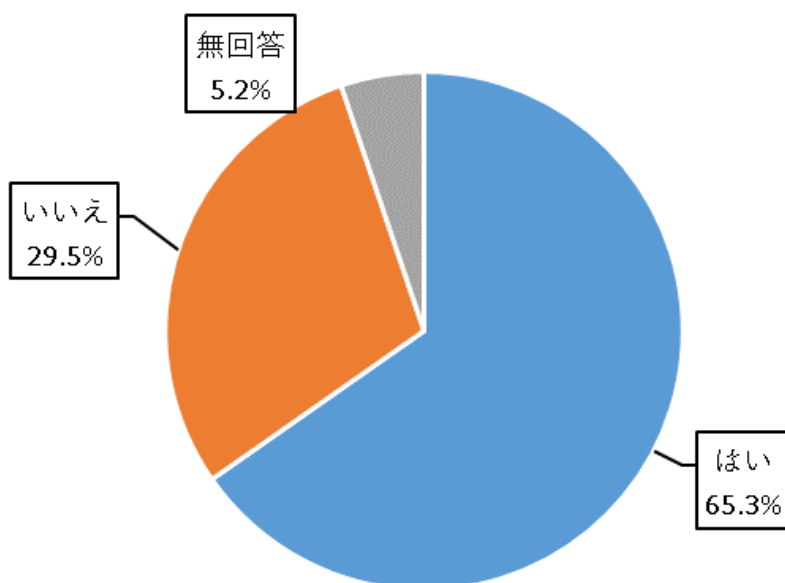
順位	項 目		%	前回R01 (参考)
1	景気対策	産 業	20.5	20.1(2位)
2	高齢者福祉の充実	健康・福祉	17.1	16.5(3位)
3	子育て支援	子育て・教育	16.1	15.4(4位)
4	医療提供体制の充実	健康・福祉	15.1	14.4(5位)
5	雪に強いまちづくり	安全・安心	13.4	22.7(1位)
6	防災・危機管理体制の充実	安全・安心	12.9	11.2(8位)
7	富山県や日本を担う子供の育成	ひとづくり	12.6	10.7(11位)
8	生活交通の確保	安全・安心	10.5	13.8(6位)
9	富山のブランド力アップ	まちづくり・観光	9.4	8.9 (14位)
10	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	子育て・教育	9.1	10.8(9位)

【参考】過去調査結果（上位5項目）

順位	要望調査（%）				
	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 0 1	R 0 2
1	景気対策 25.2	景気対策 23.2	雪に強いまちづくり 29.6	雪に強いまちづくり 22.7	景気対策 20.5
2	子育て支援 19.2	子育て支援 20.3	景気対策 17.2	景気対策 20.1	高齢者福祉の充実 17.1
3	高齢者福祉の充実 18.9	高齢者福祉の充実 17.9	高齢者福祉の充実 14.5	高齢者福祉の充実 16.5	子育て支援 16.1
4	オープンでわかりやすい県政 16.4	医療提供体制の充実 15.7	子育て支援 14.0	子育て支援 15.4	医療提供体制の充実 15.1
5	雪に強いまちづくり 15.8	雪に強いまちづくり 14.5	防災・危機管理体制の充実 12.4	医療提供体制の充実 14.4	雪に強いまちづくり 13.4

2 新リカレント教育への取組みについて

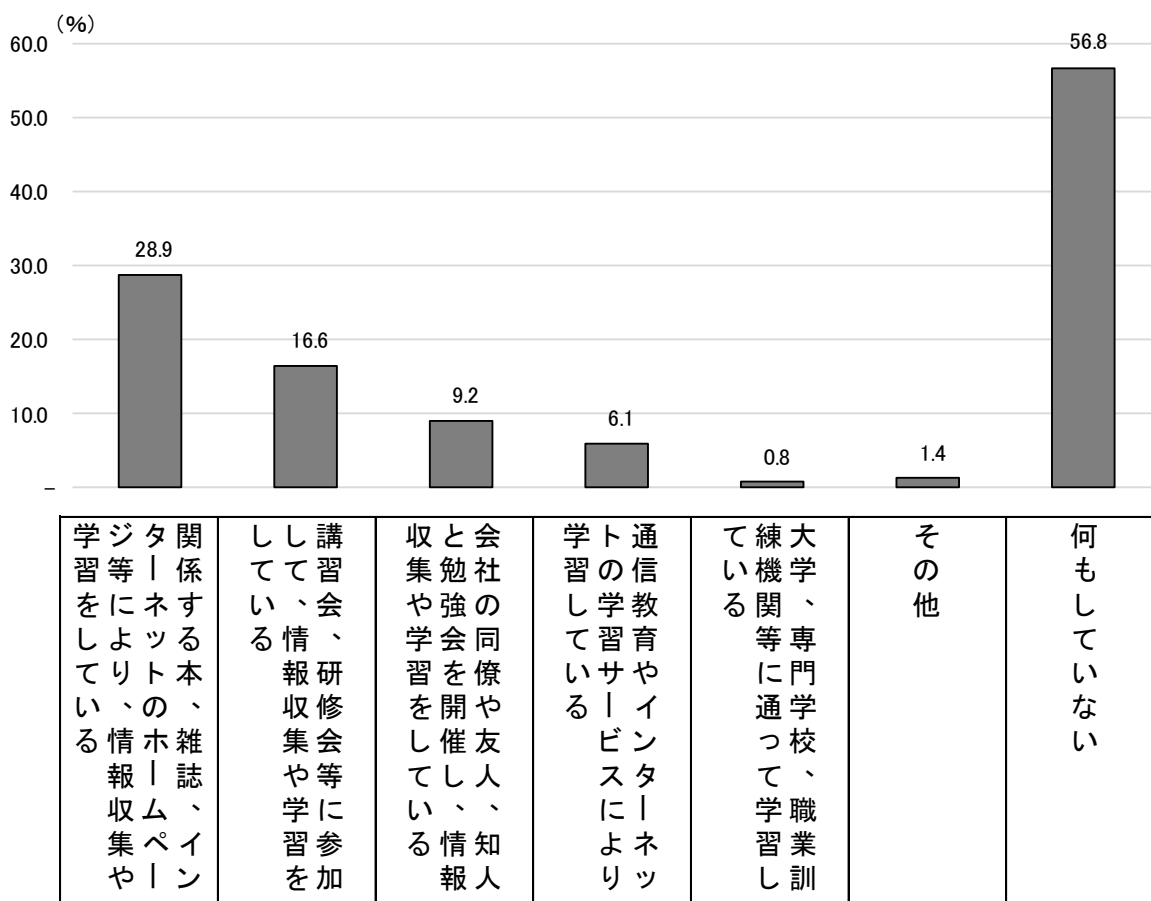
(1) 「現在お勤めしているか」について（単一回答）



(2) 「リカレント教育(社会人の学び直し)として現在何か取り組んでいるか」

について（複数回答：いくつでも）※対象者：(1)で「はい」と回答した者

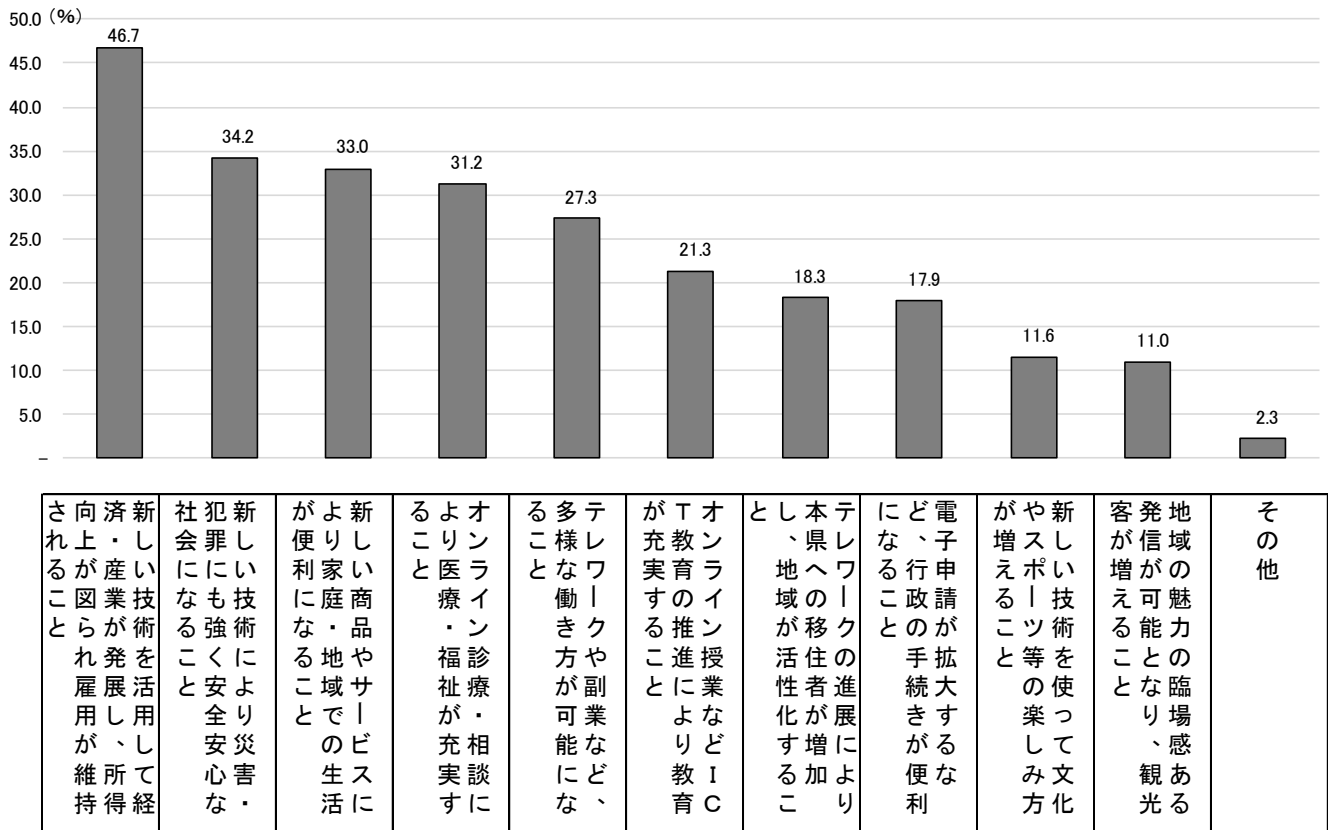
- ・『何もしていない』が5割超となっている。
- ・現在取り組んでいる事項として、『本、雑誌、インターネットのホームページ等により、情報収集や学習をしている』との回答が最も多くなっている。



3 新アフターコロナ時代において県が重点的に取り組む分野について

社会全体でデジタル化が加速すると考えられるアフターコロナ時代が、どんな社会になってほしいか（複数回答：3つ以内）

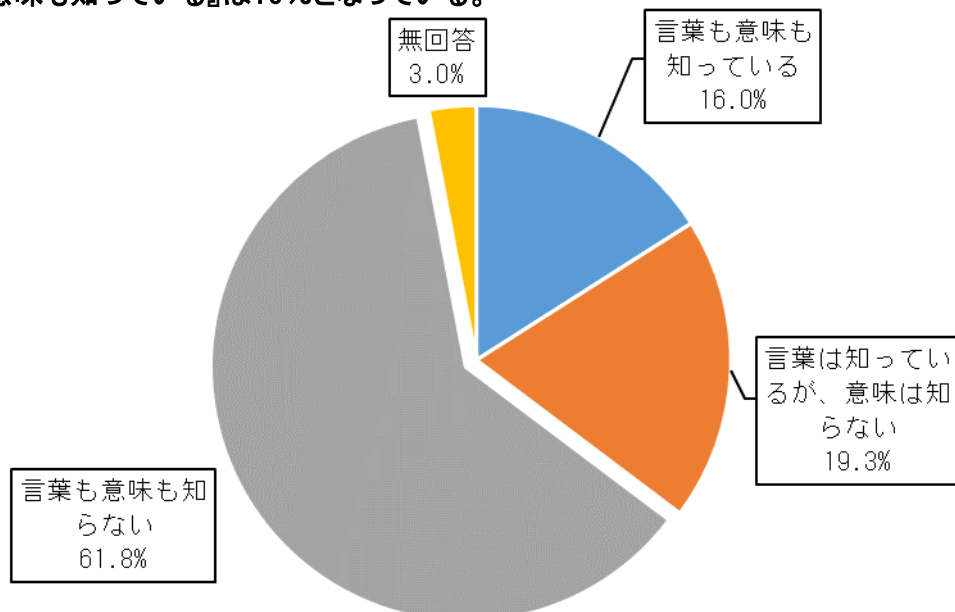
- ・『新しい技術を活用して経済・産業が発展し、所得向上が図られ雇用が維持されること』が約5割で最も多く、次いで、『新しい技術により災害・犯罪にも強く安全安心な社会になること』、『新しい商品やサービスにより家庭・地域での生活が便利になること』となっている。



4 SDGsについて

(1) SDGsの認知度について（単一回答）

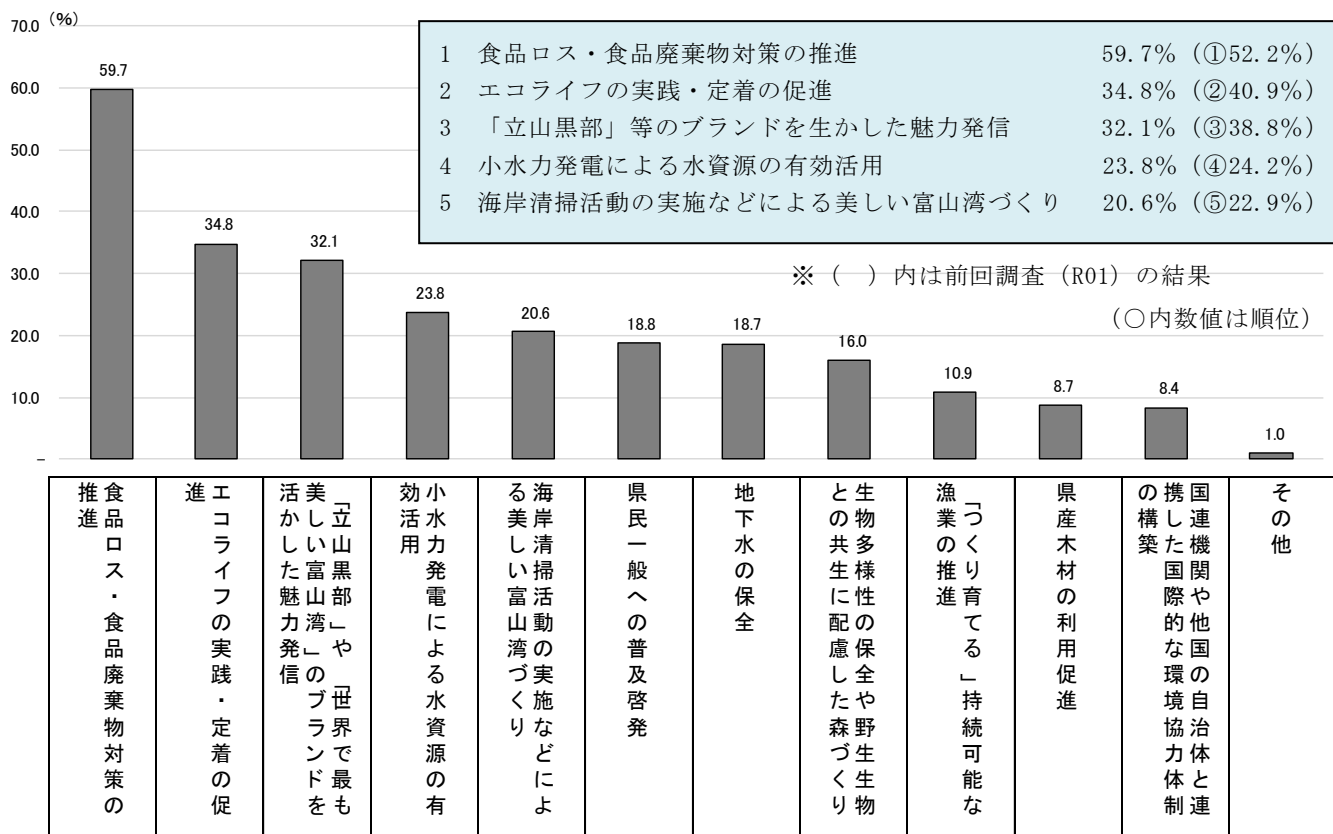
- ・『言葉も意味も知っている』は16%となっている。



(2) 本事業の推進にあたり県が提案した施策のうち、特に重要と考えるものについて

(複数回答：3つ以内)

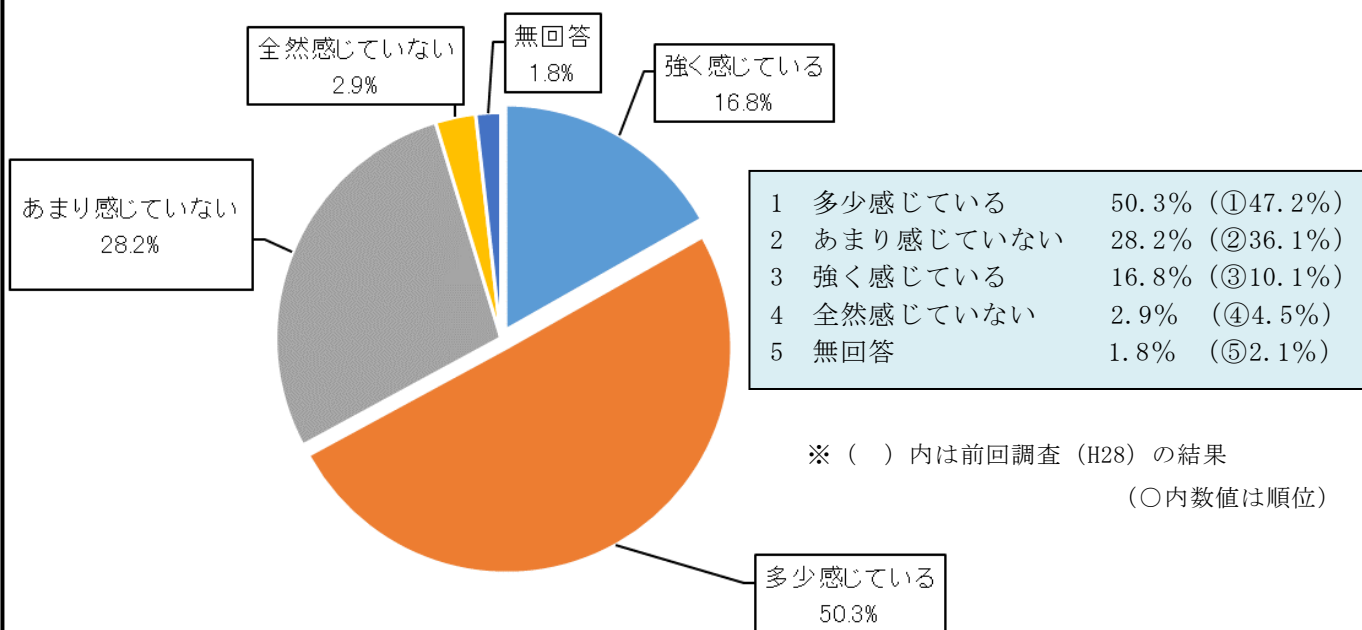
・前回同様、『食品ロス・食品廃棄物対策の推進』、『エコライフの実践・定着の促進』、『立山黒部や富山湾のブランドを活かした魅力発信』が上位となっている。



5 防災対策について

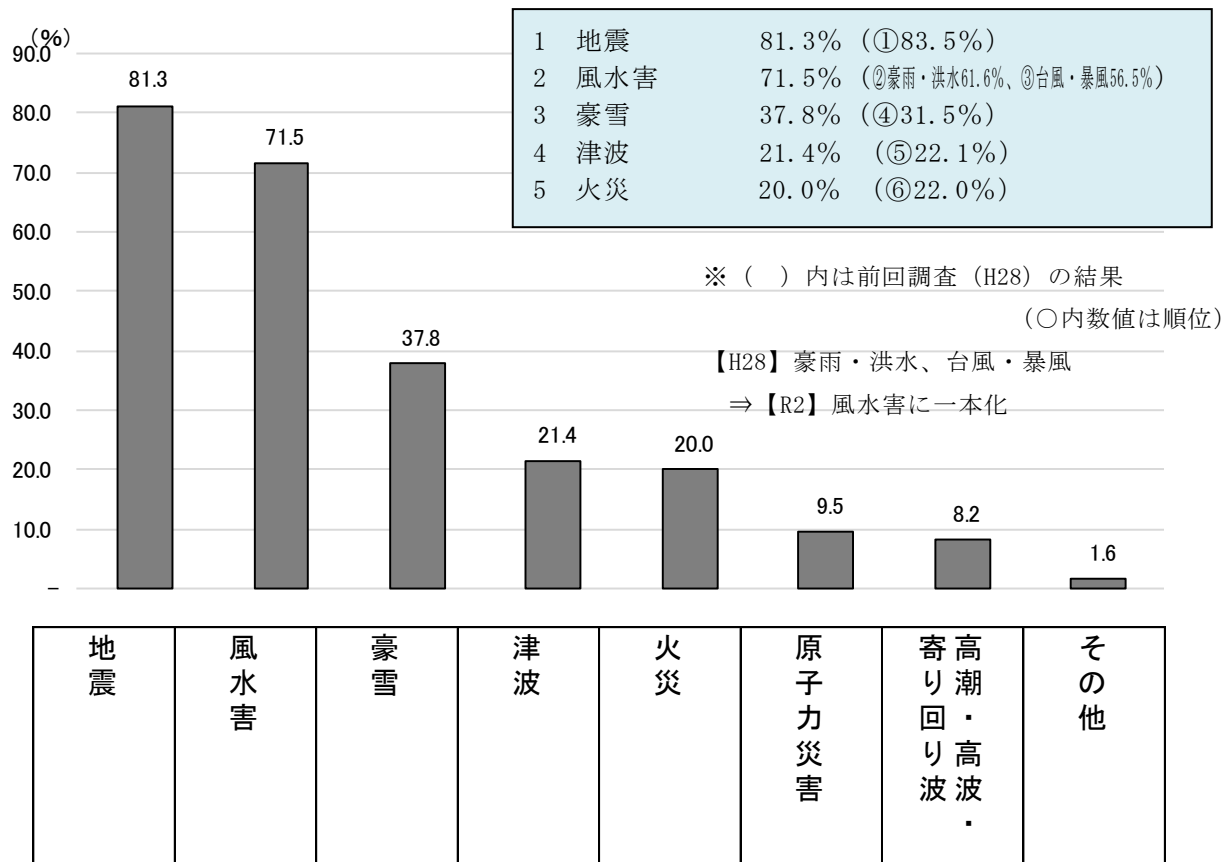
(1) 災害が近く起こるのではないかと不安や危機感を感じているか (単一回答)

・『強く感じている』『多少感じている』が約7割を占めている。



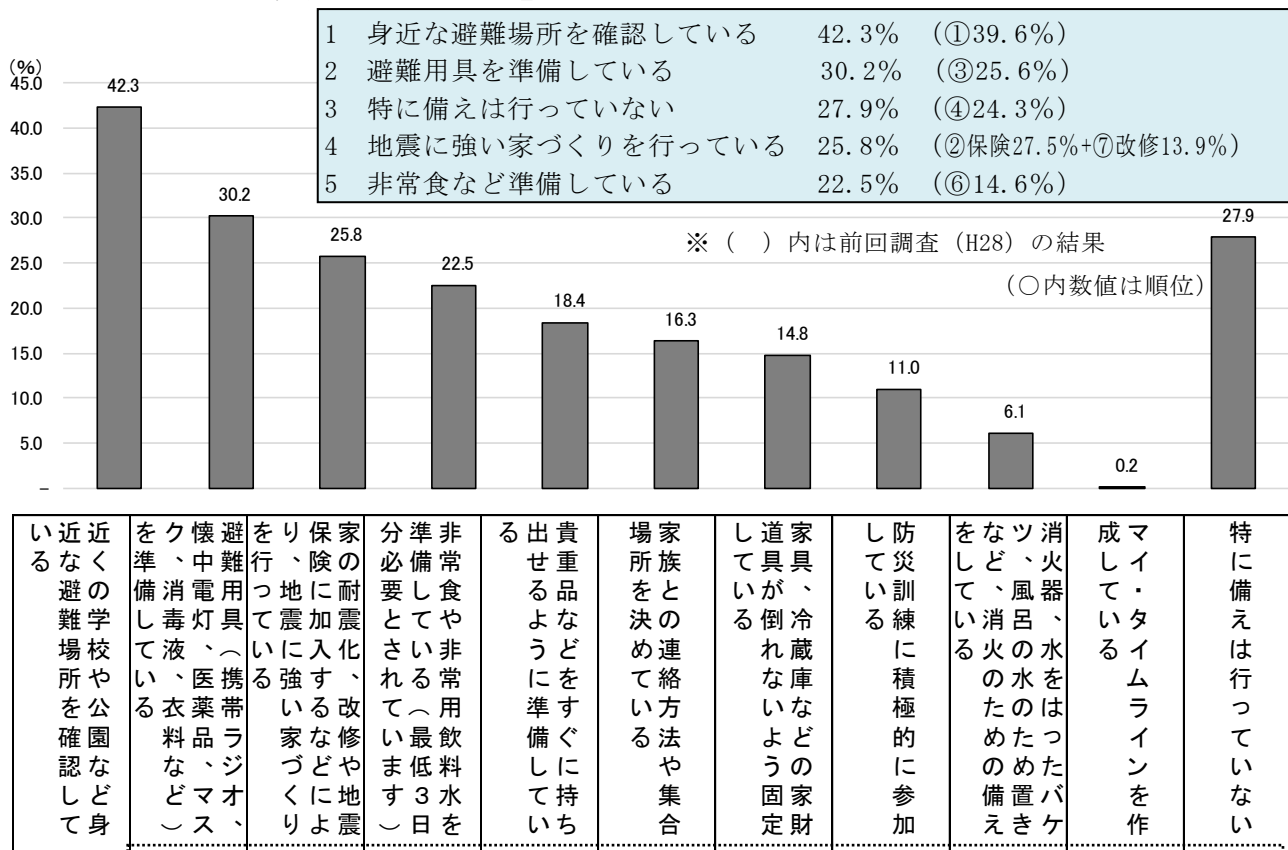
(2) どのような災害に不安を感じるか（複数回答：いくつでも）

・前回同様『地震』は約8割が不安に感じている。



(3) 災害に対して、何らかの備えをとっているかについて（複数回答：いくつでも）

・『身近な避難場所を確認している』が4割を占めた。

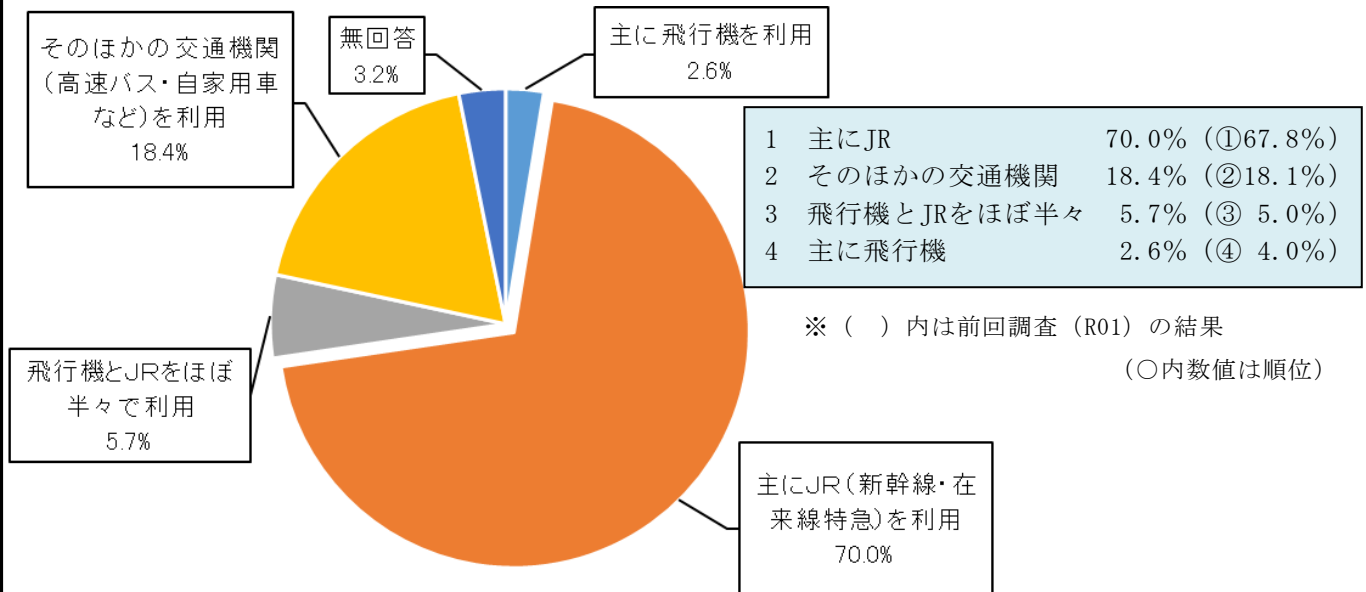


【H28】『地震保険の加入』『地震に強い家づくり』⇒【R02】『改修や地震保険加入など地震に強い家づくり』に一本化

6 富山きときと空港の利用促進について

(1) 東京や首都圏方面に出かける場合の交通手段について（単一回答）

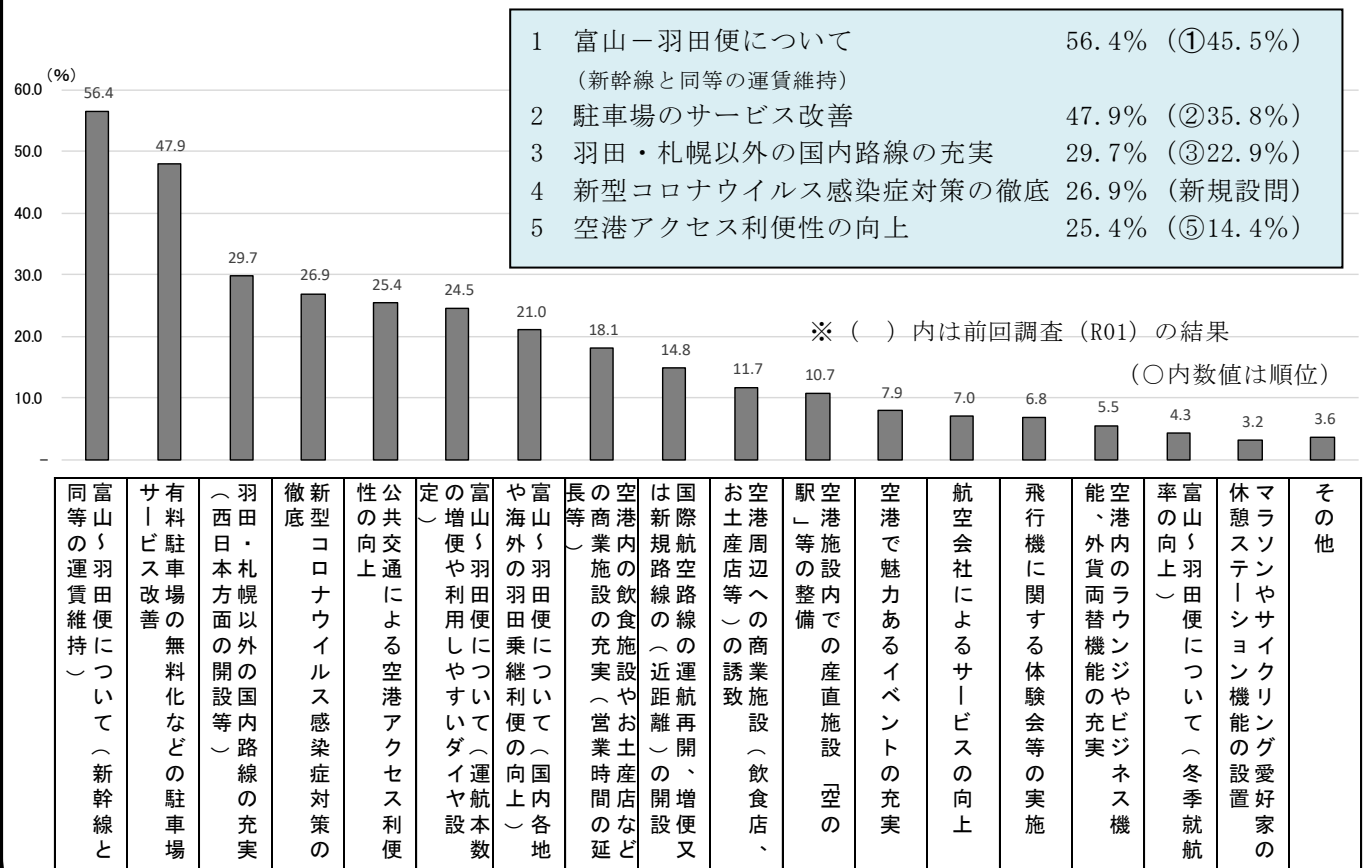
・前回同様、『主にJRを利用』が約7割となっている。



(2) 空港利用を増やすためのサービスについて（複数回答：5つ以内）

・前回同様、『富山ー羽田便について(新幹線と同等の運賃維持)』、『駐車場のサービス改善』が上位となっている。

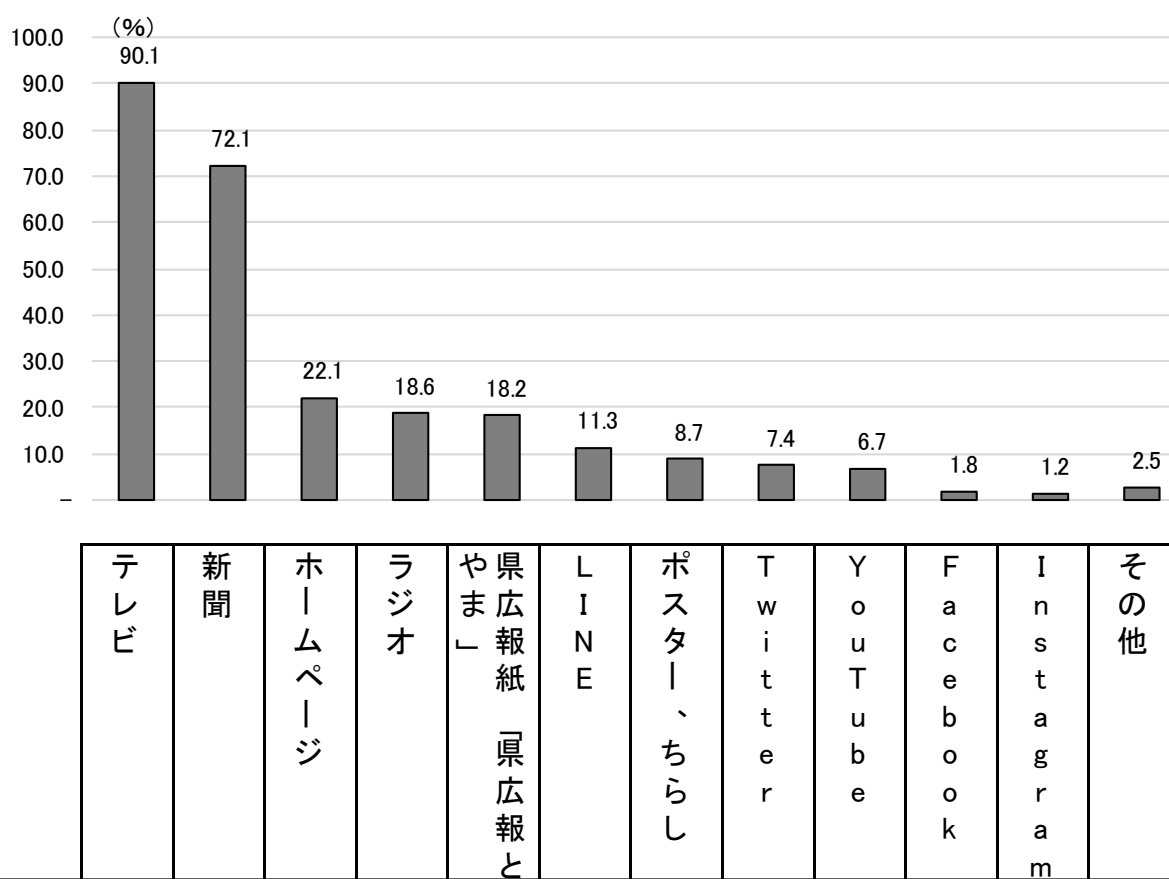
・『新型コロナウイルス感染症対策の徹底』は4位となっている。



7 新型コロナウイルス感染症に関する情報発信について

よく閲覧、利用した情報媒体について（複数回答：4つ以内）

・『テレビ』が9割、『新聞』が7割を超え、次いで『ホームページ』の順になっている。

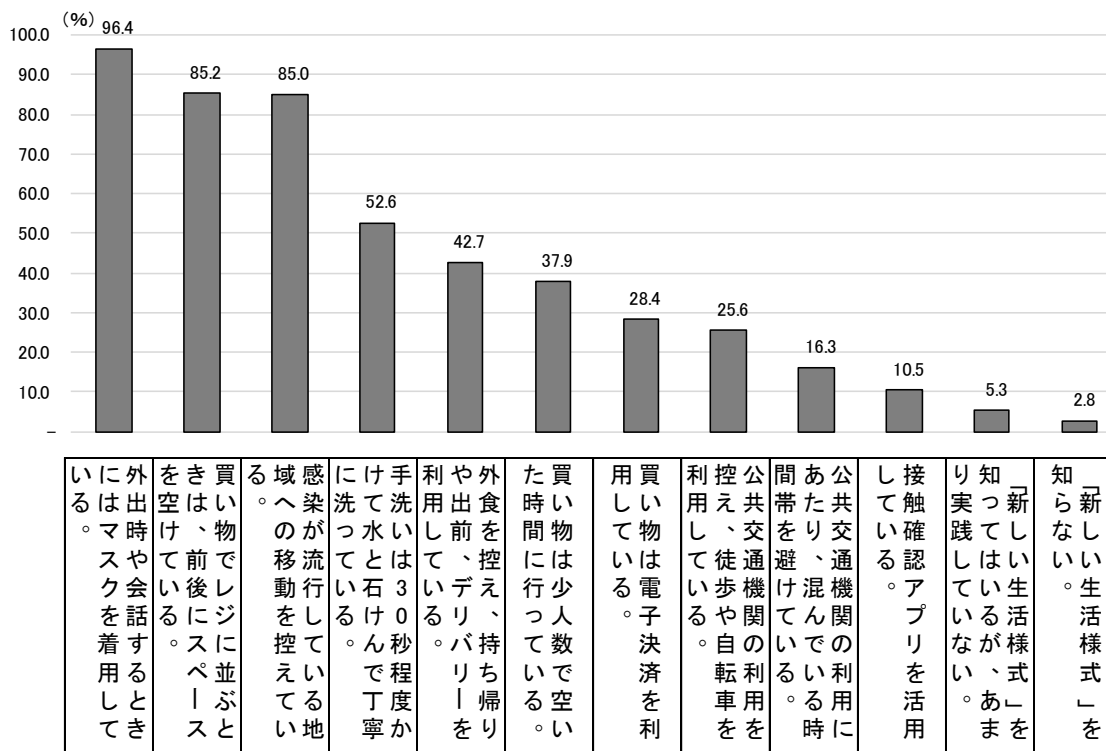


8 「新しい生活様式」の実践について

日常生活の中で実践していることについて（複数回答：いくつでも）

・『マスクの着用』が96.4%となっている。

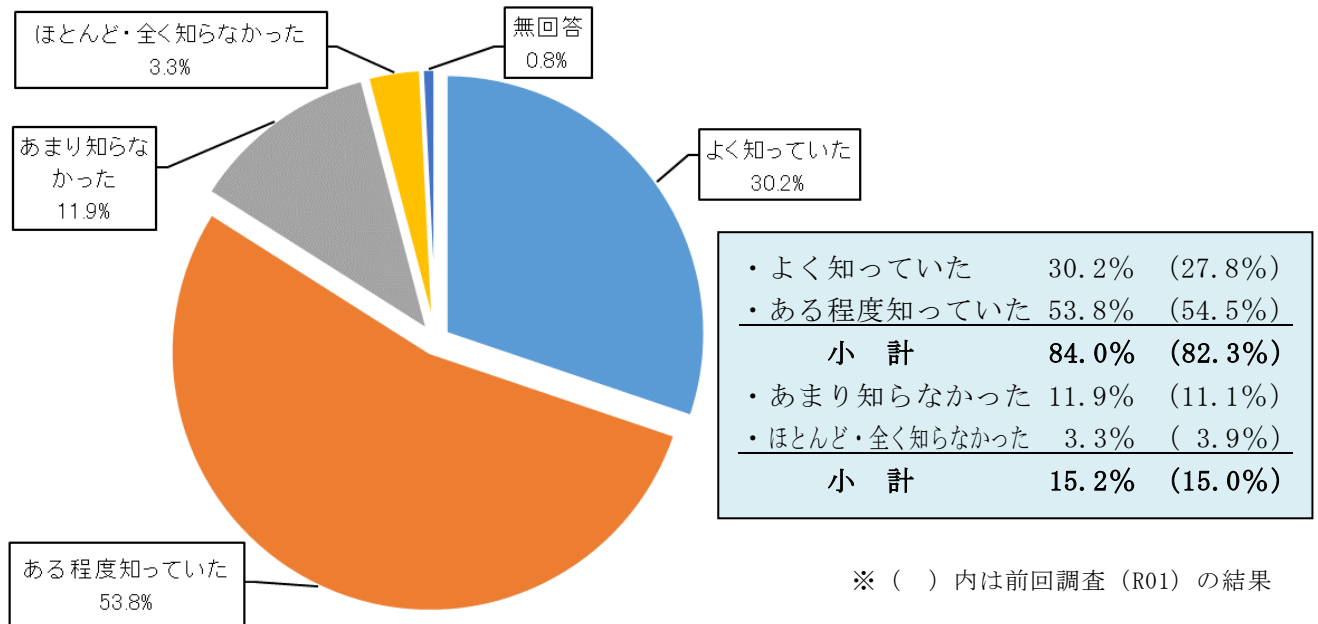
・『レジで並ぶときはスペースを空ける』、『感染流行している地域への移動を控える』も8割を超え、高くなっている。



9 食品ロスの削減について

(1) 食品ロスの認知度について (単一回答)

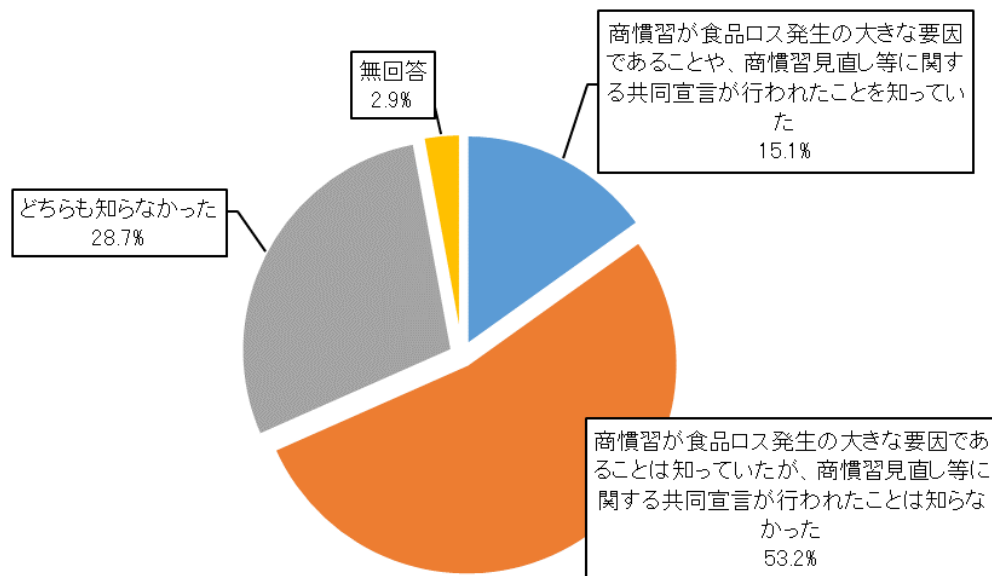
・前回より、食品ロスが問題となっていることを知っている割合が増となった。



(2) 商慣習が食品ロス発生の大きな要因であることや、商慣習の見直しに関する共同宣言が行われたことを知っていたか。(新規設問) (単一回答)

((1)で「よく知っていた」「ある程度知っていた」を選んだ人が対象)

・『商慣習が食品ロス発生の大きな要因であること』は約7割が知っている一方で、『商慣習の見直し等に関する共同宣言』については約8割が『知らない』と回答している。

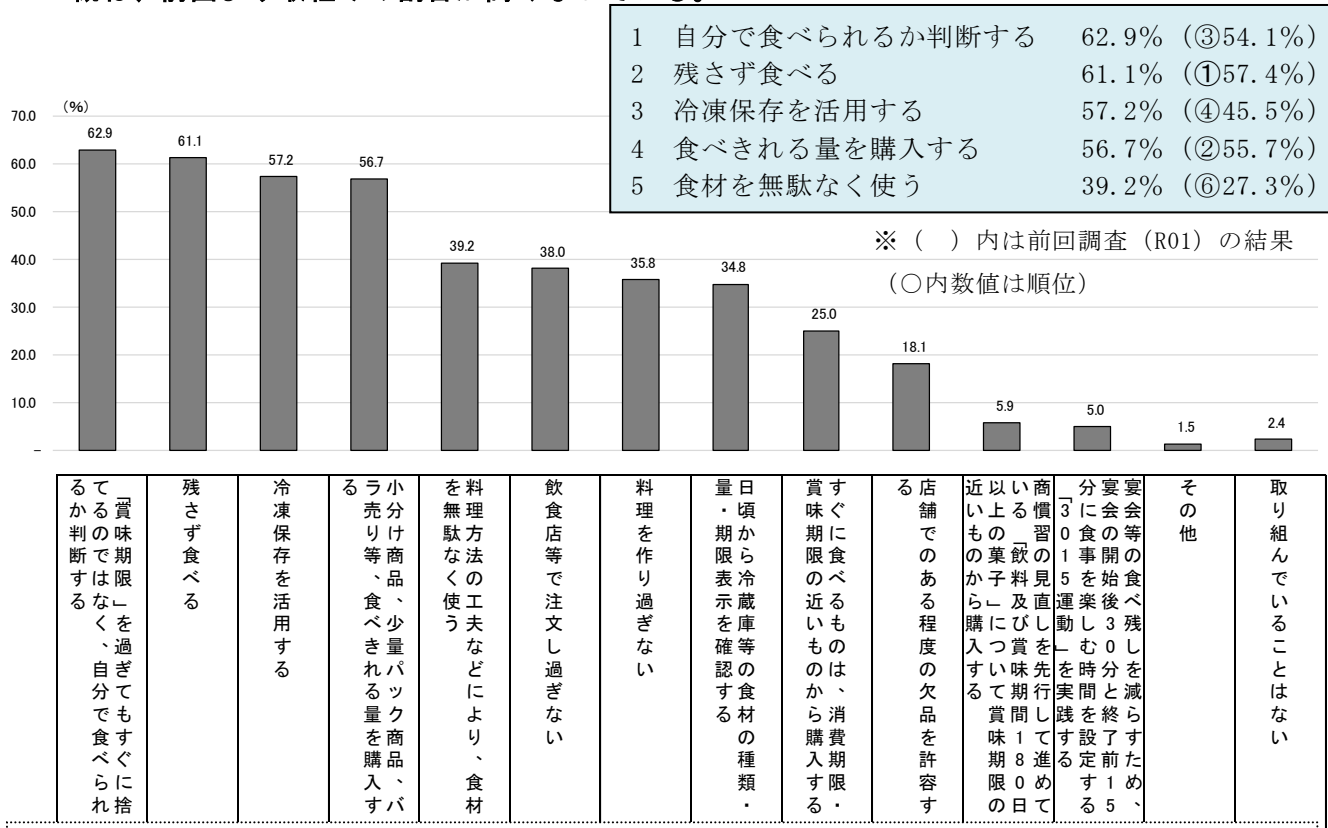


- 1 商慣習が食品ロス発生の大きな要因であることは知っていたが、商慣習見直し等に関する共同宣言が行われたことは知らなかった 53.2% (51.7%)
- 2 どちらも知らなかった 28.7% (31.1%)
- 3 商慣習が食品ロス発生の大きな要因であることや、商慣習見直し等に関する共同宣言が行われたことを知っていた 15.1% (15.6%)

※ () 内は前回調査 (R01) の結果

(3) 食品ロスを減らすために取り組んでいることについて（複数回答：いくつでも）

- ・『自分で食べられるか判断する』が1位、次いで『残さず食べる』、『冷凍食品を活用する』の順となった。
- ・概ね、前回より取組みの割合が高くなっている。



※「3015（さんまるいちご）運動」とは、立山の標高3015mにちなみ、「30」と「15」をキーワードにした富山型の食品ロス削減運動。

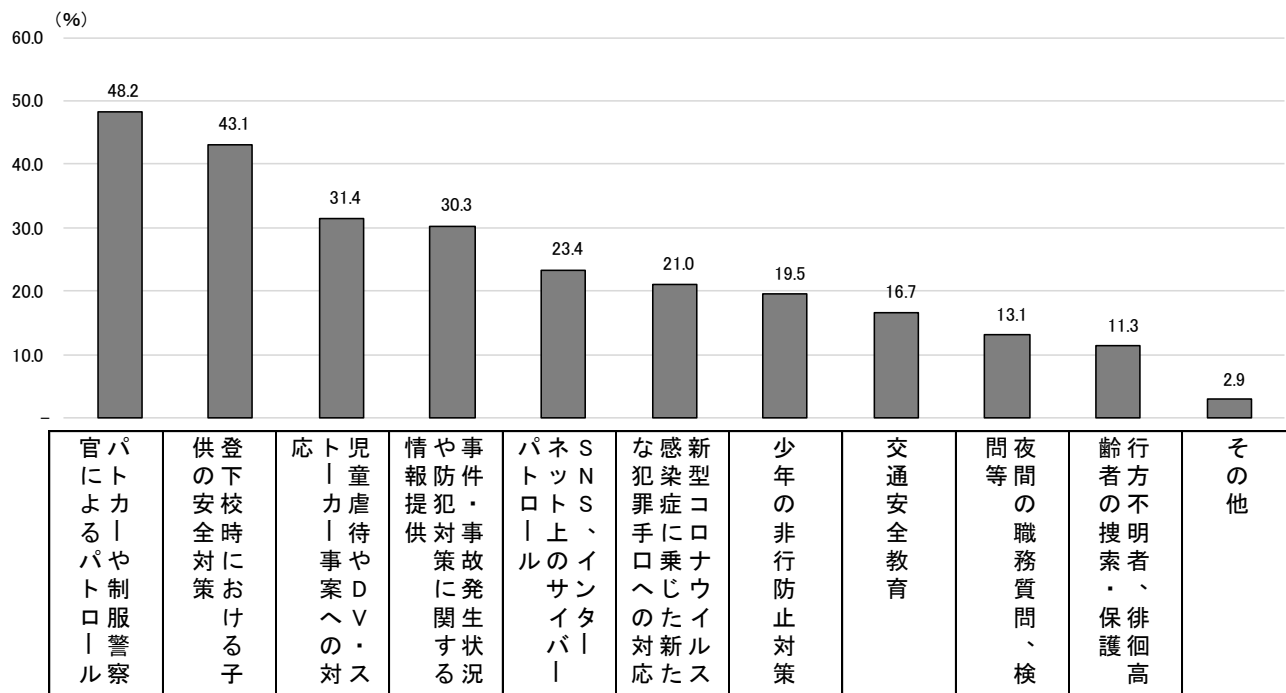
〔食べきり3015運動〕：宴会時において、開演後30分と終了前15分に自席で料理を楽しむ時間を設定し、食べきる運動。

〔使いきり3015運動〕：毎月30日と15日に家庭の冷蔵庫等をチェックし、食材を使い切る運動。

10 警察活動に対する要望について

(1) 重点的に取組んで欲しい活動について（複数回答：3つ以内）

- ・『パトロール』と『登下校時における子供の安全対策』が4割超で上位となっている。

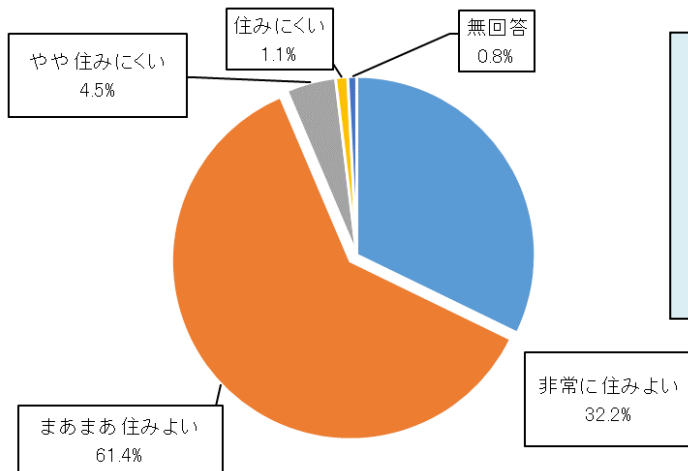


11 意識調査について

<幸福度に関する設問>

(1) 富山県の住みよさについて（単一回答）

・前回より『非常に住みよい』『まあまあ住みよい』をあわせ、『住みよい』が増となった。

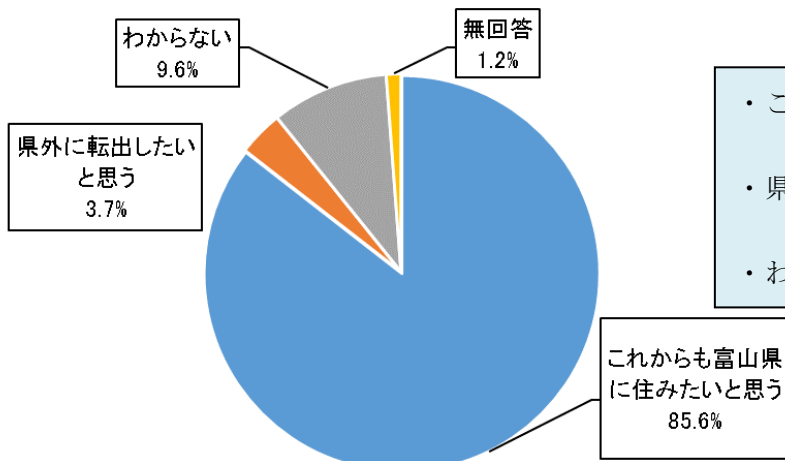


・非常に住みよい	32.2%	(27.6%)
・まあまあ住みよい	61.4%	(62.7%)
小計	93.6%	(90.3%)
・やや住みにくい	4.5%	(5.7%)
・住みにくい	1.1%	(1.7%)
小計	5.6%	(7.4%)

※（ ）内は前回調査（R01）の結果

(2) 『これからも富山県に住みたいか』について（単一回答）

・『これからも住みたい』が85%を超えている。

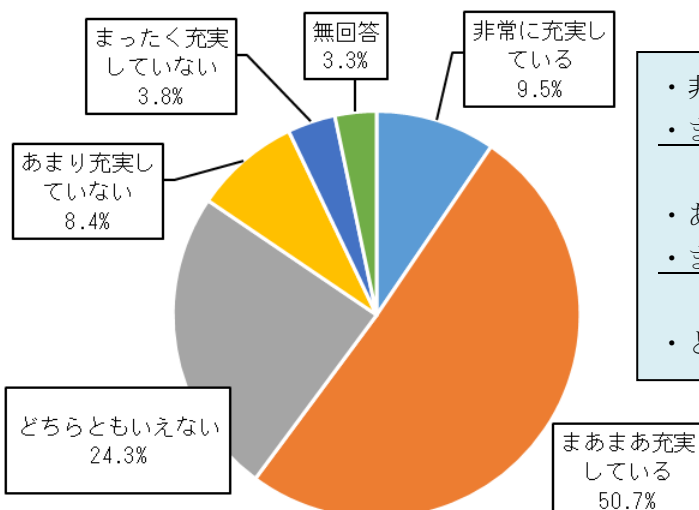


・これからも富山県に住みたいと思う	85.6%	(80.1%)
・県外に転出したいと思う	3.7%	(4.5%)
・わからない	9.6%	(12.9%)

※（ ）内は前回調査（R01）の結果

(3) 仕事の充実感（満足感）について（注 「仕事をしていない」と回答した方を除く）（単一回答）

・『非常に充実している』と『まあまあ充実している』をあわせ、約60%が『充実している』と回答している。

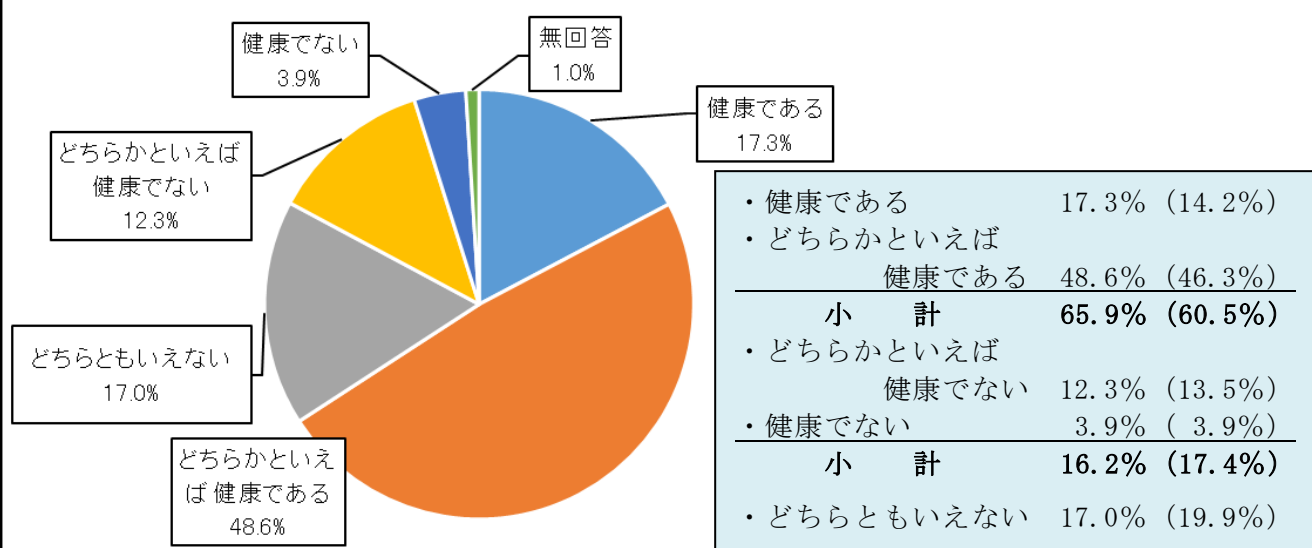


・非常に充実している	9.5%	(7.0%)
・まあまあ充実している	50.7%	(47.6%)
小計	60.2%	(54.6%)
・あまり充実していない	8.4%	(14.0%)
・まったく充実していない	3.8%	(5.1%)
小計	12.2%	(19.1%)
・どちらともいえない	24.3%	(23.6%)

※（ ）内は前回調査（R01）の結果

(4) 自分の健康状態について（単一回答）

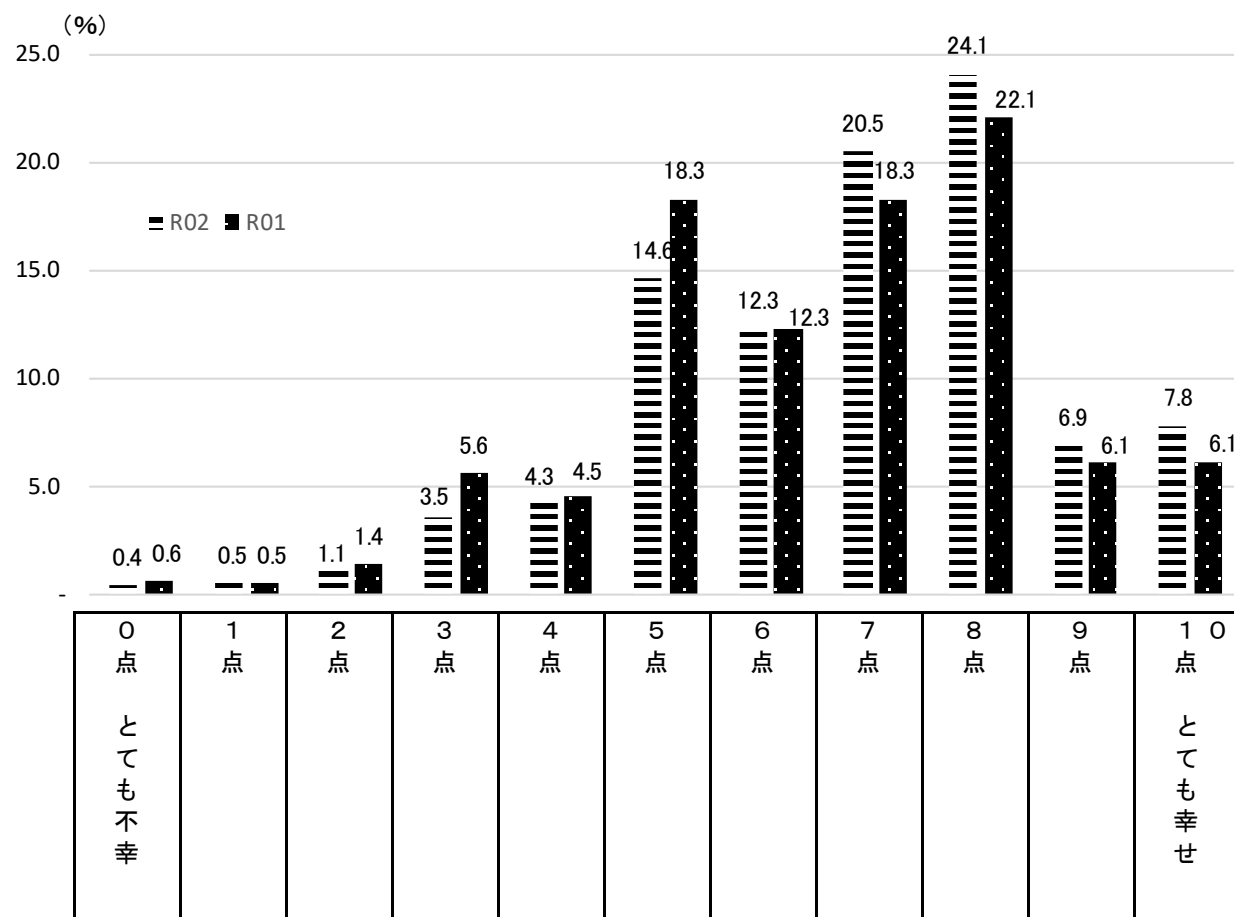
・前回より、『健康』と『どちらかといえば健康』をあわせ、『健康』が増えた。



※（ ）内は前回調査（R01）の結果

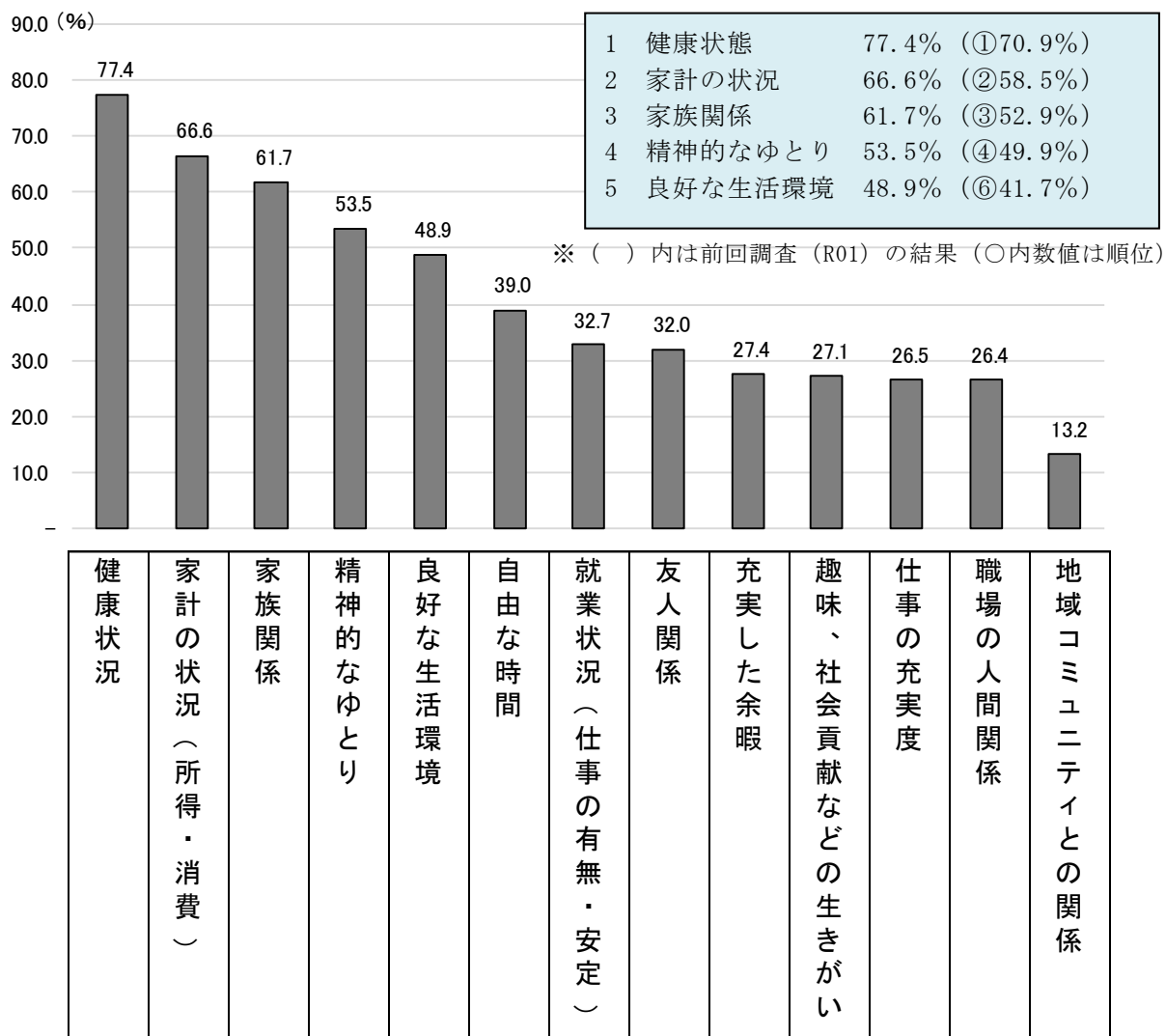
(5) 幸福感について（単一回答）

・平均点は6.8点で、前回(6.2点)より上昇している。



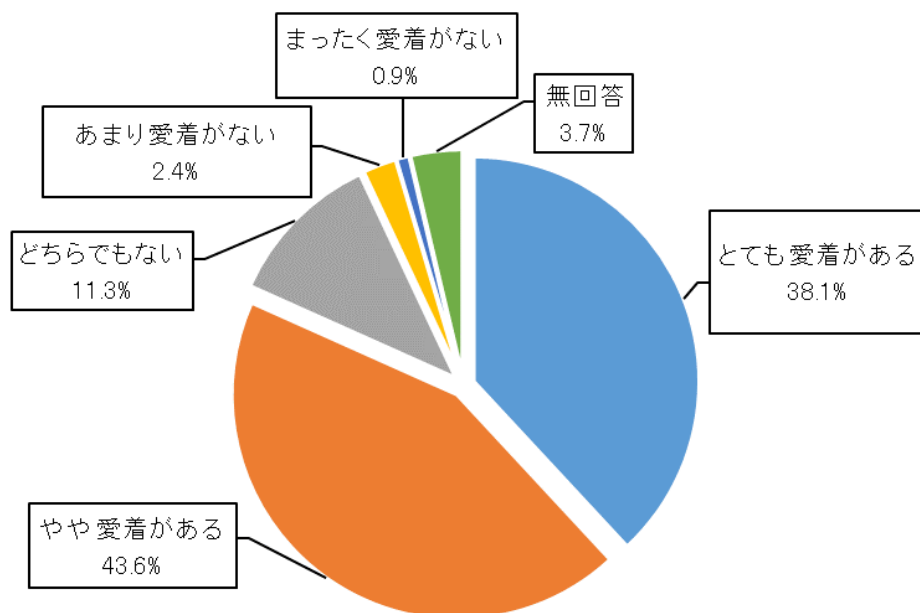
(6) 幸福感の判断の際に重視するものについて (いくつでも)

・前回同様、『健康状態』、『家計の状況』、『家族関係』が上位となっている。



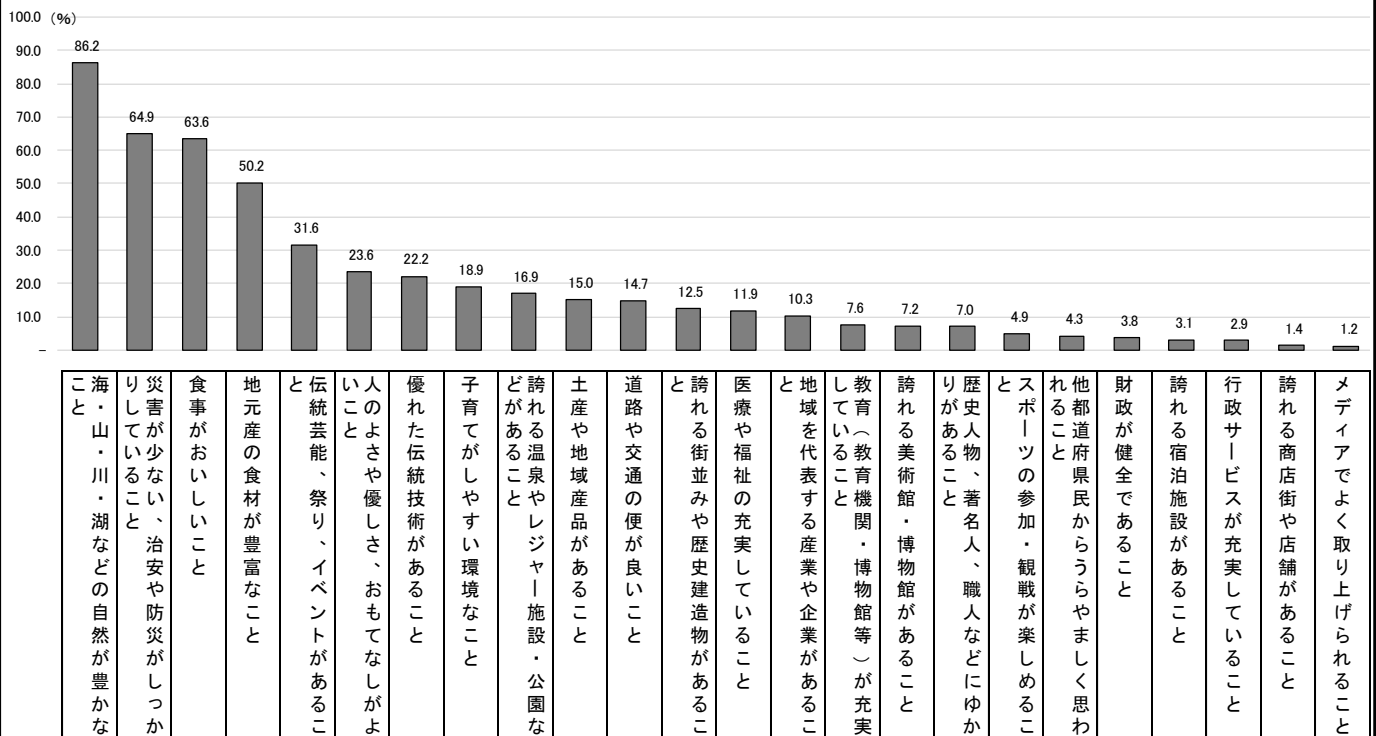
(7) 富山県に対する愛着度について (単一回答)

・『とても愛着がある』、『やや愛着がある』が約8割となっている。



(8) **新** 富山県のどのような点を誇りに思うかについて (いくつでも)

・『自然が豊か』、『災害が少ない・治安や防災がしっかりしている』、『食事がおいしい』が6割を超えている。



< 県民参考指標 (総合計画) に係る設問 >

(9) 県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源がありますが、県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがありますか。

たくさんある	22.2% (19.4%)
少しはある	67.1% (68.9%)
ない	6.5% (8.5%)

※ () 内は前回調査 (R01) の結果

(10) あなたは、県内において、音楽や演劇、美術など芸術文化に親しむ機会が充足されていると思いますか。

十分に充足されている	2.6% (1.6%)
ある程度充足されている	37.5% (34.4%)
あまり充足されていない	38.2% (37.5%)
まったく充足されていない	7.0% (7.9%)
わからない	13.4% (15.6%)

※ () 内は前回調査 (R01) の結果

(11) 最近の家庭は、しつけや望ましい生活習慣づくりなど、子どもの教育において、役割を果たしていると思いますか。

十分に果たしている	1.9% (1.8%)
ある程度果たしている	42.6% (37.1%)
あまり果たしていない	36.8% (35.0%)
まったく果たしていない	4.5% (5.4%)
わからない	12.2% (16.9%)

※ () 内は前回調査 (R01) の結果

(12) あなたは、過去 1 年間に、生涯学習を行ったことがありますか。

ある	33.3% (27.1%)
ない	65.1% (69.1%)

※ () 内は前回調査 (R01) の結果

(13) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。

積極的に参加している	13.3% (9.2%)
ときどき参加している	49.6% (47.5%)
参加していないが、今後は参加したい	16.7% (19.3%)
参加していないし、今後参加したくない	19.2% (20.5%)

※ () 内は前回調査 (R01) の結果